

困った際のQ&A

Q. 数日経ってしまい、とれにくくなったヒールマーク(黒い汚れ)はどのように落とせばよいでしょうか?

A まず、水で湿らせたモップ(ウェットモップ)をヒールマークの上に置き、モップの上から足の力を利用して踏みながらねじ込むようにして除去します。それでも取り除けない場合は、硬質スポンジを用意し、ヒールマーク跡に洗剤(市販品のアルカリ洗剤、中性タイプでも可)を吹き付け床面にキズが

つかないようにこすりながら取り除き、最後はもう一度きれいなウェットモップで仕上げます。出来る限りヒールマークを見つけたら、その都度除去することを心がけてください。日常清掃の作業で取り除けない場合、専門のクリーニング業者へ依頼し洗浄してもらってください。

Q. 土砂の持込みが多く床材に傷がつきやすく困ります。

A 2つのメンテナンス「予防清掃」「日常清掃」を組み合わせて対応するのが基本です。まず、現状の床材の汚れが付きやすい状況は、どのような原因によって起こっているか、確認が必要です。1つ考えられることは、靴底に付いた土砂、砂塵などの汚れが外部から落とされることなく室内に入ってきて拡散され、人の歩行によってキズを付けていることが予測できます。

予防清掃としては、土砂や粉塵を集塵するマット設置が必要です。次に、マットで集塵できなかった汚れが室内に入った後、その汚れを毎日のお掃除で取り除く必要があります。毎日、時間をかけずに簡単にお掃除するには、集塵機能がすぐれている除塵モップ(ダスキンモップなど)がおすすめです。徹底的に土砂・粉塵を除去するには、電気式掃除機でしっかり取り除く事がより効果的です。

Q. 日常のメンテナンスはどれくらい時間を掛ければよいでしょうか?

A 一般的にお掃除にかかる時間は、部屋の広さに関係なく15～20分で仕上げまでの一連の流れを組み立てます。きれいの目線は床に向けられるので、お掃除の時間の60%を床のお掃除にかけることがきれいを保つ方法です。ハードフロア(ビニル系床材や石床、フローリングなど

硬質面の総称の床名称)の場合、2ステップ方式で行います。最初に、床にある土砂・ホコリなど除塵モップ(ダスキンモップなど)を使用して取り除きます。次に、床表面の汚れを水で湿らせたモップでキレイに仕上げます。汚れが取りにくいところは、床用洗剤を希釈してスプレー噴霧してモップで拭き上げます。

お掃除の時間より、短時間で、一人より二人、または複数で分担しながらお掃除をする。これを毎日の仕事として習慣化させる事が大切です。

NWシリーズのご用命はお近くの東リ営業所まで
あらゆるお掃除に関するご用命はダスキンコールセンターまで (TEL 0120-100-100)

東リ NW シリーズ メンテナンスマニュアル



日常メンテナンスはなぜ大切?

キレイを保つための最適なメンテナンス

住まいのお掃除に、大掃除と毎日の簡単なお掃除があるように、お店やオフィスにも本来は定期的な専門のお掃除と毎日のお掃除が必要です。ホコリや汚れは毎日積み重なっていきます。

美しい状態を保つためには、どのような床材も毎日の

お掃除<日常清掃>を、限られた時間の中で手際良く、そして美しく仕上げる必要があります。一般のビニル系床材はさらに定期的なワックスメンテナンスを必要としますが、「東リ NWシリーズ」は定期的なワックスメンテナンスを必要としない画期的なビニル系床材です。

汚れは放っておくと手強くなります

衣類から出る綿ボコリや外の空気に混ざった土ボコリ、タバコの煙等、空気中には汚れの原因が常に浮遊しています。床やガラス、家具や備品もこれらの浮遊するホコリに毎日さらされています。

最初はわずかなホコリでも、放っておくとどんどん手に負えなくなってきます。お掃除は、軽い汚れや軽いホコリのうちにキレイにするのが一番良いのです。

日常メンテナンスはどのような床材にも必要です

「東リ NWシリーズ」の床材も他のビニル系床材と同じように日々のお手入れが必要です。私達が生活する環境の中では、必ず「汚れ」が発生してしまいます。外部からの土砂、粉塵の持ち込み、室内からも小さな繊維くず、花粉、フケ、髪の毛からゴミなど、床材に関係なくあらゆる汚れが発生します。

「東リ NWシリーズ」の床材も他のビニル系床材と同じように日々のお手入れが必要です。

■NWシリーズのメンテナンス

日常清掃は、床面積の大きな部位では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を推奨します。

自動床面洗浄機を使えない狭い床面積の部位でのメンテナンス方法を今回ご紹介させていただきます。



自動床面洗浄機：アmano株式会社
【お問い合わせ窓口】〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地
アmano(株) クリーンシステム事業部 TEL:045-439-2206(直通)

日常メンテナンスはどのような床材にも必要です

東リ「NWシリーズ」の床材も他のビニル系床材と同じように日々のお手入れが必要です。私達が生活する環境の中では、必ず「汚れ」が発生してしまいます。外部からの土砂、粉塵の持ち込み、室内からも小さな繊維くず、花粉、フケ、髪の毛からゴミなど、床材に関係なくあらゆる汚れが発生します。

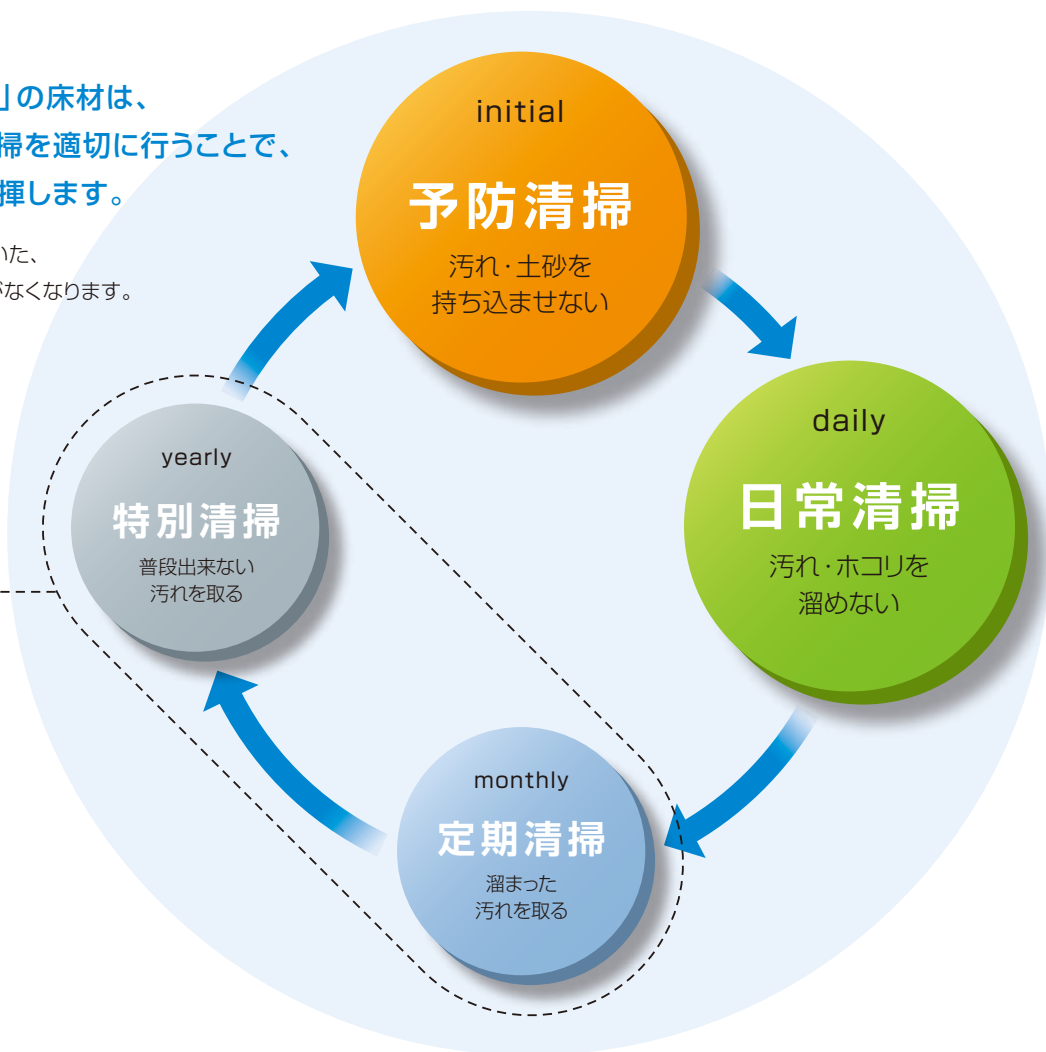
清掃の種類は、4つに分けることができます。

予防清掃	外部からの土砂・粉塵をマットなどを使って侵入を防止する清掃。
日常清掃	日単位で人が利用することで発生する汚れ、ホコリなど除去する清掃。
定期清掃	月単位で行うお掃除。 (ex. ワックス塗布を行う専門機材を使った清掃)
特別清掃	年単位で行うお掃除。 (ex. 大掃除、ワックスはく離)

東リ「NWシリーズ」の床材は、**予防清掃と日常清掃を適切に行うことで、最大限の効果を発揮します。**

床材の保護として行っていた、洗浄・ワックス塗布作業がなくなります。

東リ「NWシリーズ」は、**定期清掃**と**特別清掃**が不要になります。



東リ「NWシリーズ」は、WAXメンテナンスが不要なビニル系床材です。

■NWシリーズのメンテナンスについて

NWシリーズは、耐摩耗性に優れた、高耐久抗菌UV樹脂コーティング層と、抗菌特殊防汚塩ビ樹脂クリア層が特長。汚れが付きにくく、取れやすいため、日常メンテナンスでの美観を維持します。

■耐汚れ試験(耐ヒールマーク性試験)

	拭き取り前	拭き取り後(布拭き)	拭き取り後(水拭き)
当社従来品			
STフロアNW			

試験方法: JIS K 3920準拠 耐ヒールマーク性試験

■耐汚れ試験(耐ヒールマーク性試験)

	拭き取り前	拭き取り後(布拭き)	拭き取り後(水拭き)
一般ビニル床シート			
リユームNW			

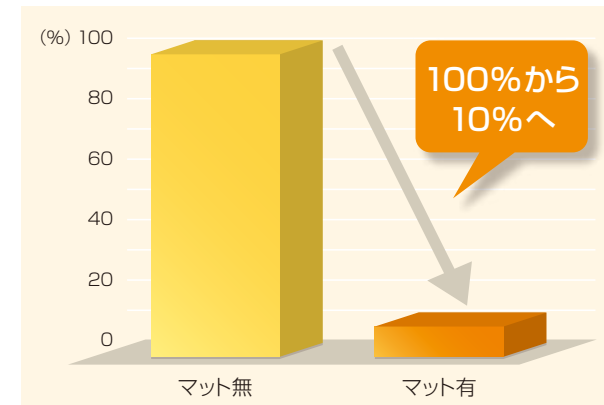
試験方法: JIS K 3920準拠 耐ヒールマーク性試験

メンテナンスの基本は「予防清掃」

予防清掃とは?

外部からの汚れ、特に靴裏に付着して持ち込みが多くなる土砂、粉塵、汚れなどの、室内への侵入を防止するメンテナンス方法です。具体的にはマットの設置を意味します。風除室におけるマットの設置は大型施設に限られるため基本的な予防清掃のツールは玄関マットです。

■6歩歩行可能なマットによる土砂の除去率



■マットの性能を最大限発揮させるために

マット表面の汚れ及びパイルにたまった土砂・ホコリをできるだけ除去し、キレイに保つことが大切です。

- 1回/日… 掃除機などを使って土砂・ホコリなど除塵します。
- 1回/週… マットを逆さまにしてマット奥に溜まった土砂をはたき落とします。
- 1回/月… デッキブラシと床用洗剤を使って水洗いでマットをリフレッシュさせます。

※尚、レンタルマットは4週に1回交換がありますので月1回のメンテナンスは必要ありません。

■マットの選び方

歩行人数と外部環境を参考に選んでください。(下記CASBEE資料参照) マットの性能は吸水タイプ、吸塵(土砂・ホコリ等)タイプ、吸水・吸塵タイプの大きく3つに分かれます。外から持ち込まれる汚れのタイプによって使い分けてください。

●CASBEE 参考資料

I 建築物衛生法における特定建築物の場合に評価する取組み

1)汚染源対策
建物外部、内部を問わず、合計5m以上の充分な長さのエントランスマットとグレーチングの有無を設置写真の添付にて評価する。室内の汚れの85%以上が外部からの土砂の侵入によるものであり、マットは6歩の歩行で90%以上の土砂を除去できると報告されている。そこで、これに相当する以上(5m)の設備の設置を判断基準とした。これによって、建物内部への汚染の侵入を防ぎ、より快適な機能性を維持できる。

参考: エントランスマットの適正な長さを求める指標

全体のマットの長さ(※): 外部環境指数 × 通行環境指数		
外部環境指数	超郊外の建築物	1.2
	郊外型の建築物	1.0
	都市部の建築物	0.9
通行環境指数	極多(10,000人以上)	13.0
	多(7,000人~10,000人)	10.0
	普通(4,000人~7,000人)	8.0
	少(2,000人~4,000人)	6.0
	極小(2,000人未満)	4.5

※上記人数は1日当たりの推定歩行量数

「日常清掃」が快適な環境を維持

日常清掃とは?

普段の生活で発生する汚れのクリーニングや予防清掃を補完する清掃のことを言います。床のお掃除では「掃く」「拭く」「吸う」といった清掃で、必要な道具は自在ほうき、モップや掃除機などを使います。15~20分程度を目安にお掃除に必要なスタッフと場所を決めて行います。毎日1回行うことが基本です。また、汚れを見つけたらすぐ道具を使ってお掃除を行ってください。習慣にすることで、より快適な空間が維持できます。

■簡単お掃除



ダスキンモップや自在ほうきで大きいホコリ等を除去します。その際、奥のほうから入り口に向かって汚れを除去してください。

■しっかりお掃除



さらに掃除機やモップ掛けを行っていただくとより効果的です。汚れがひどい場合は、床用洗剤をスプレーしてモップ掛けします。
※それでも落ちない場合はポリッシャーや固く絞った雑巾で部分的にごすり取ってください。



床面積の大きな部位では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を使用していただくとより効果的です。